

# R8年度 新規拡充事業 住宅・マンション課



拡充

居住サポート住宅  
供給促進事業



新規

マンション防災  
対策支援事業

# 居住サポート住宅供給促進事業【拡充】

R8予算額

家賃低廉化補助: 32,400千円

住宅改修費補助: 2,500千円

## 背景・経緯

### 法改正と国の動き

R7.10法改正: **居住支援法人等**が安否確認・見守り等を行う「居住サポート住宅」認定制度が創設。

国・都は、家賃低廉化等の補助対象を居住サポート住宅へ拡充し、予算化を推奨。

## R8拡充内容

### 補助対象の拡充:

家賃低廉化補助・改修費補助等を居住サポートにも適用。

### 安心の提供:




入居中サポート(安否確認・見守り)によりオーナーリスクを軽減。

### 補助額の拡充:

家賃低廉化補助を**4万円から5万円へ増額**。



# セーフティネット専用住宅と居住サポート住宅の比較

	従来制度 セーフティネット専用住宅	新認定制度 居住サポート住宅	
		専用	非専用
対象者 	住宅確保要配慮者 高齢者、障がい者、ひとり親世帯など(入居を拒まない)	要援助者(日常生活に援助が必要な住宅確保要配慮者) より手厚いケアが必要な層に対応	要援助者(日常生活に援助が必要な住宅確保要配慮者) 及びそれ以外の住宅確保要配慮者
サポート体制 	特段のサポート義務なし	<b>安否確認・見守り</b> ✓安否確認(1日1回) ✓見守り(月1回) ✓福祉サービスへのつなぎ	<b>個別に必要な方法・頻度のサポート</b> ※要援助者が入居の場合は、左欄の基準に適合した支援
入居審査・保証	家賃債務保証会社の審査あり	<b>原則、認定保証事業者が引受</b> 審査により入居できないリスクを解消	
制度趣旨 	要配慮者の入居を拒まない住宅供給の促進	入居を拒まず、 <b>入居中のサポート</b> も提供する住宅の供給	

# マンション防災対策支援事業【新規】

R8新規予算額  
1,140千円

## △ 現状・課題

### マンションの「二つの老い」

・建物の老朽化か居住者の高齢化が同時に進行し、維持管理が困難に。

### 管理の複雑化・困難化

・管理費高騰、役員の成り手不足、外国人区分所有者の増加など。

### 災害対応力の懸念

・災害時に「自宅待機(在宅避難)」するための備えが不足。  
・マンション内コミュニティが希薄  
・マンションコミュニティと地域の繋がりが希薄

## 支援内容



### 普及啓発リーフレット発行

防災・適正管理、マンション防災力の向上、管理組合の活性化、地域防災との連携等をテーマに年2回発行し全戸配布等を実施。



### 防災アドバイザー派遣

専門家が管理組合へ直接助言。  
**1回2時間×30マンション×2回**

## 期待効果

### 「在宅避難」の実現

災害時に自宅で安全に過ごせる環境

### コミュニティの活性化

・防災活動を通じた住民同士の連携  
・管理組合の活性化

### 適正管理力の向上

管理組合の自走力を底上げ